

米国大学における 2013 年の博士号取得者数は増加するも、
学位取得後の進路確定者の割合は引き続き減少（12 月 5 日）

米国科学財団（National Science Foundation : NSF）は、米国大学における 2013 年の博士号取得者に関するデータ「米国大学の博士号取得者 ～2013 年～（Doctorate Recipients from U.S. Universities: 2013）」を発表した。

これによると、2013 年の博士号取得者総数は 5 万 2,760 人で、前年比 3.5% 増であったという。但し、このうち博士号取得時に就職先もしくはポストク採用が確定している割合は全体の 62.7% で、過去 2 年をさらに下回り、最近 10 年余りで最低であることが明らかにされた。

また、学位取得後の進路確定者の割合は専攻分野によって差があり、例えば社会科学博士号取得者の場合は全体の約 70%、物理科学博士号取得者及び教育博士号では共に約 66% となっているが、調査対象であるいずれの分野においても過去 10 年間で減少傾向にあるという。

なお、本データは、<<http://www.nsf.gov/statistics/sed/2013/data-tables.cfm>>からダウンロード可能。

The Chronicle of Higher Education, Doctoral Degrees Increased Last Year, but Career Opportunities Remained Bleak

<http://chronicle.com/article/article-content/150421/>